

## 2019年度第2回川崎市福祉製品導入促進補助金 (導入促進事業・展示会出展事業) 公 募 要 領

産業と福祉の融合で新たな活力と社会的価値を創造することを目指す「ウェルフェアイノベーション」を推進するため、本市独自の福祉製品の基準であるかわさき基準（KIS：Kawasaki Innovation Standard）認証福祉製品等（認証福祉製品あつては、認証期間内に限る。）を市内の事業所に導入する際や、市内の事業者が自らの福祉製品等を展示会に出展する際に必要な経費を助成します。

**【補助制度の概要(後述の詳細説明資料を合わせて御確認ください)】**

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| 対<br>象<br>者      | <p>(1)導入促進事業</p> <p>川崎市生活支援機器・施設内支援機器等モニター評価支援事業実施要綱に基づき登録されたモニター評価等支援事業所であつて、かつ市内に事業所を有して1年以上同一事業を営み、市内の事業所で補助対象事業を行う者</p> <p>※モニター評価等支援事業所に登録されていない場合は、申請時に申し込みが出来ます。</p>  | <p>(2)展示会出展事業</p> <p>市内に事業所を有し、認証製品等について、認証の申請を行った事業者</p>  |
| 事<br>業<br>内<br>容 | <p>(1)導入促進事業</p> <p>認証製品等を、市内事業所等に設置又は配置し、認証製品等の周知・普及及び認証製品等を利用する者の自立支援、介護負担の軽減に向けて製品活用による新たな価値創造につながる効果が期待される事業</p>   | <p>(2)展示会出展事業</p> <p>自らの福祉製品等の周知・普及、及びウェルフェアイノベーションの取組のプロモーション促進のために展示会に出展する事業</p>   |
| 補<br>助<br>対<br>象 | <p>(1)導入促進事業</p> <p>補助対象事業に必要な経費のうち、認証製品等の購入費、借受料、運搬費及び設置又は配置にかかる工事費</p>   | <p>(2)展示会出展事業</p> <p>補助対象事業に必要な経費のうち、展示会出展料</p>  |
| 補<br>助<br>額      | <p>(1)導入促進事業</p> <p>&lt;補助率&gt; 2分の1以下<br/>&lt;補助限度額&gt; 50万円以下</p> <p>※ただし、1件当たりの補助額は、予算の範囲内になります。</p> <p>※第1回川崎市福祉製品導入促進補助金の交付決定を受けた場合は、交付の対象にはなりません。</p>  | <p>(2)展示会出展事業</p> <p>&lt;補助率&gt; 3分の1以下<br/>&lt;補助限度額&gt; 20万円以下</p> <p>※ただし、1件当たりの補助額は、予算の範囲内になります。</p> <p>※第1回川崎市福祉製品導入促進補助金の交付決定を受けた場合は、交付の対象にはなりません。</p> |
| 活<br>用<br>手<br>順 | <p><b>募集期間は2019年6月7日(金)から7月17日(水)まで</b></p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[申請書類提出] --&gt; B[審査委員会]     B --&gt; C[交付決定]     C --&gt; D[事業実施]     D --&gt; E[実施報告書類提出]     E --&gt; F[交付確定]     F --&gt; G[補助金請求]     G --&gt; H[補助金交付]             </pre> </div> |  |

## 活用にあたっての留意事項

### 【導入促進事業】

- ・導入する市内事業所等において、申請日より前の半年以内に試用、または試用に代わり製品販売事業者等から認証製品等の導入効果について、説明を受けていることが補助対象事業の条件となります。（単に買換えを目的とするものは補助対象事業となりません。）
- ・認証製品等（消耗品を除く。）の購入又は3ヶ月以上の借受けて、消費税を除いた補助対象経費の総額が6万円以上の事業が補助対象となります。
- ・設置等を行う事業所に補助対象となる認証製品等と同一製品の購入又は3ヶ月以上の借受けの実績がある場合は補助対象となりません。

### 【導入促進事業及び展示会出展事業】

- ・国、地方公共団体その他の団体等から本事業と重複した補助交付決定を受けている事業は補助対象事業となりません。

## 問合せ・申請先

川崎市経済労働局イノベーション推進室ウェルフェアイノベーション担当

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11番地2川崎フロンティアビル10階

電話：044-200-3226                      FAX：044-200-3920

メール：[28innova@city.kawasaki.jp](mailto:28innova@city.kawasaki.jp)

## 川崎市福祉製品導入促進補助事業について(詳細説明資料)

### 1 事業の目的

かわさき基準(K I S)認証福祉製品等を市内の事業所等に導入する際や、市内の事業者が自らの福祉製品等を展示会に出展する際に、その経費に対して補助することにより、ウェルフェアイノベーションの推進を図ることを目的としています。

### 2 補助対象者

市民税を滞納していない次の各号に該当する者であって、代表者又は役員が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員に該当しない者が補助対象事業者となります。

#### (1) 導入促進事業

川崎市生活支援機器・施設内支援機器等モニター評価支援事業実施要綱に基づき登録されたモニター評価等支援事業所であって、かつ市内で引き続き1年以上同一事業を営み、市内の事業所で補助対象事業を行う者

※ モニター評価等支援事業所とは、同要綱第2号から第4号に掲げる事業を実施する、市内に事業所を有する、介護福祉サービスを提供する事業所、医療機関、医療福祉関係団体、商店街、商業施設、ホテル、スポーツ施設、又は市内イベント主催者等をいいます。

#### (2) 展示会出展事業

市内に事業所を有し、認証製品等について、認証の申請を行った事業者

### 3 補助対象事業

補助金交付決定日(2019年8月下旬【予定】)から2020年3月31日までに完了することが確実なもので、次の各号に該当する事業が補助対象事業となります。

#### (1) 導入促進事業

ア 導入する市内事業所等において、申請日より前の半年以内に試用の実績があること。止むを得ず試用が難しい場合は、試用に代わり、製品販売事業者等から認証製品等の導入効果について説明を受けた実績があること。

イ 単に買換え等を目的とするものでなく、認証製品等を利用する方の「自立支援」及び「介護負担の軽減」に向けて製品活用による新たな価値創造につながる効果が期待されるものであること。

ウ 認証製品等(消耗品を除く。)の購入又は3ヶ月以上の借受けて、消費税を除いた補助対象経費の総額が6万円以上であること。

エ 設置等を行う事業所で、過去に補助対象となる認証製品等と同一製品の購入又は3ヶ月以上の借受けの実績がないこと。

オ 国、地方公共団体その他の団体等から本事業と重複した補助交付決定を受けていないもの。

※ 原則として、1事業所あたりの本制度の利用限度は年度につき1回とします。

#### (2) 展示会出展事業

ア 自らの福祉製品等の周知・普及及びウェルフェアイノベーションの取組のプロモーション促進のために展示会に出展するもの。

イ 国、地方公共団体その他の団体等から本事業と重複した補助交付決定を受けていないもの。

※ 原則として、1事業所あたりの本制度の利用限度は年度につき1回とします。

#### 4 補助対象経費

補助対象経費は、次のとおりです。

なお、補助対象経費については、実績報告書を提出していただく際に、支出を証する書類として領収書・振込書とその内訳がわかる請求書等支出を証する書類を添付していただきます。

##### (1) 導入促進事業

ア 認証製品等の購入費や借受料

イ 認証製品等の運搬費や設置、配置にかかる工事費

※ 購入等に係る消費税や設置、配置に係る人件費は補助対象経費になりません。

※ 自社製品の調達に係る経費がある場合、補助事業者自身の利益相当分が含まれているものについては、補助対象経費になりません。

##### (2) 展示会出展事業

展示会出展料

※ 複数者共同で出展する場合には、申請主体者及び共同事業者間の費用負担の状況を明確にしてください。

※ 補助交付決定日前に支出した展示会出展料も補助対象経費となります。

#### 5 補助金の額、補助率及び補助対象期間

##### (1) 導入促進事業

ア 補助限度額は、50万円以下です。

イ 補助率は、補助対象経費の2分の1以下の範囲で決定します。

※ 補助金は予算の範囲内での配分となります。

ウ 交付決定に係る製品の数量変更を行う場合があります。

※ 補助対象経費の中に、補助事業者の自社製品の調達に係る経費がある場合、補助対象経費に補助事業者自身の利益相当分が含まれないことを立証する資料の提出が必要です。

エ 補助対象期間は、交付決定日から2020年3月31日までとなります。

※ 上記の補助対象期間内（交付決定日から2020年3月31日まで）に設置又は配置を完了することが確実な事業が補助対象となりますので、交付決定前に購入した認証製品等は補助対象となりません。

##### (2) 展示会出展事業

ア 補助限度額は、20万円以下です。

イ 補助率は、補助対象経費の3分の1以下の範囲で決定します。

※ 補助金は予算の範囲内での配分となります。

ウ 補助対象期間は、交付決定日から2020年3月31日までとなります。

※ 上記の補助対象期間内（交付決定日から2020年3月31日まで）に開催される展示会等に出展する事業が補助対象となりますので、交付決定前に申込等を行った展示会についても補助対象となります。

## 6 交付申請

補助金交付申請書（別紙様式）に、次の書類を添えて申請してください。申請に必要な書類が全て提出された段階で、受付を行います。

| № | 書類名                                   | 法人事業者 | 中小企業団体 |
|---|---------------------------------------|-------|--------|
| 1 | 登記簿謄本（履歴事項全部証明書）原本                    | ○     | —      |
| 2 | 定款・組合員名簿・総会の議事録（補助事業申請の議決があるもの）       | —     | ○      |
| 3 | 会社概要（パンフレット、経歴書等の企業概要のわかる資料）          | ○     | ○      |
| 4 | 市民税納税証明書（直近3ヶ月以内）                     | ○     | ○      |
| 5 | 確定申告書又は決算書（直近2期分）（展示会出展事業のみ）          | ○     | ○      |
| 6 | 許可・認可届けの必要な業種はその写し                    | ○     | △      |
| 7 | カタログ（必要ページのみ）、<br>見積書等外注に要する費用を説明する資料 | ○     | ○      |
| 8 | 導入元企業の内容（会社概要）がわかるもの（導入促進事業のみ）        | ○     | ○      |
| 9 | その他市長が必要と認めた書類                        | △     | △      |

※ 上記以外に追加資料の提出を求める場合があります。

※ 新設の施設等において、導入促進事業の申請を行う場合は、事業実施のスケジュール等が明らかになる計画書を添えて申請してください。

## 7 交付の手順と方法

### (1) 受付（確認）

イノベーション推進室（申請窓口）において、提出された申請書等について、記載内容、添付書類の有無等を確認します。

### (2) 審査

補助金の交付決定を行うにあたり、次の審査項目に基づき、審査を行います。なお、必要があると認められるときには申請書類に基づく説明を求めるほか、学識経験者等の意見を聞くことがあります。

ア 製品活用による新たな価値創造につながる効果への期待（導入促進事業のみ）

イ ウェルフェアイノベーションの取組のプロモーション促進に関する事項（展示会出展補助事業のみ）

ウ 事業（導入規模、事業経費、出展規模等）の適切性

エ 事業（公益性、導入目的、導入箇所、利用者数、展示会来場者数等）の効果

オ 特に優れている事項の有無

カ その他、別途定める基準に基づき審査を行います。

## 8 交付決定の取消し等

次の各号に該当するときは、補助金の交付決定の全額又は一部を取消し、既に交付した補助金の全部又は一部を返還していただくことがあります。

(1) 国、地方公共団体その他の団体等から本事業と重複した補助交付決定を受けた場合

(2) 偽り、その他不正の手段により補助金の交付を受けたとき

(3) 補助金の交付決定の内容、又はこれに付した条件、その他法令等に基づき市長が行った指示、若しくは命令に違反したとき

## 9 取得財産の管理

- (1) この補助事業により取得した財産については、補助事業終了後も善良なる管理者の注意をもって管理し、補助金交付の目的に従って効果的な運用を図らなければなりません。
- (2) 「減価償却資産の耐用年数に関する省令」(昭和40年大蔵省令第15号)を踏まえ、市長が別に定める期間内に、この補助事業により取得した財産を処分する必要がある場合には、事前に市長の承認を受けなければなりません。

## 10 実績報告

補助対象事業が完了したとき又は会計年度が終了したときは、速やかに所定の実績報告書に必要な書類を添付して提出してください。補助対象経費の支出を証する書類については、原則として、領収書・振込書及びその内訳のわかる請求書となります。また、補助対象事業の実施を明らかにするため、認証製品等の設置状況及び事業広報の状況を示す写真を提出してください。

## 11 その他

- (1) マスコミ等に認証製品等の導入やその成果を発表する場合は、本制度によるものであることを明記してください。また、公表した資料を本市に提出してください。
- (2) 導入にあたって、製品の紹介を施設内で掲示するほか、かわさき基準認証製品においては、かわさき基準の説明及びロゴマークを付すなどし、認証製品等の周知及び普及を目的とした広報に積極的に御協力していただくようお願いします。
- (3) 導入促進補助事業者は、川崎市生活支援機器・施設内支援機器等モニター評価等支援事業実施要綱に基づく認証製品等の活用段階での価値創造支援事業に協力するため、ヒアリングを行い、その導入効果を公表することがありますので御留意ください。
- (4) 導入する認証製品等の使用方法や購入後の対応については製造・販売元に直接御確認ください。
- (5) 本事業により、導入した福祉製品等を使用する申請者等には、使用上の注意に従い、安全に利用する責務が生じるとともに、製品の販売会社等には使用者が安全に利用できるよう適切な情報提供をお願いします。本市が当該製品等の安全性や使用によって生じた事故等の責任を負うものではありません。

## 12 スケジュール

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| 2019年 6月 7日    | 申請受付開始          |
| 2019年 7月17日    | 申請受付終了          |
| 2019年 8月上旬(予定) | 審査委員会           |
| 2019年 8月下旬(予定) | 補助金交付決定         |
| 事業完了後          | 実績報告書の提出(現地確認等) |
| 確認後、1ヵ月以内      | 補助金交付額の確定・支払    |

## 13 申請書の提出等

申請書は必ず、下記の申請窓口へ来所日を問い合わせのうえ、直接持参して下さい。

【申請窓口】 川崎市経済労働局イノベーション推進室

住 所：〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11番地2川崎フロンティアビル10階

電 話：044(200)3226 FAX：044(200)3920 メール：[28innova@city.kawasaki.jp](mailto:28innova@city.kawasaki.jp)

第1号様式（第8条関係）

2019年度第2回川崎市福祉製品導入促進補助金交付申請書

年 月 日

(宛先) 川 崎 市 長

所 在 地

(ふりがな)

企 業 名

(ふりがな)

代表者役職・氏名

印

[担当者]

(ふりがな)

所 属 ・ 役 職

(ふりがな)

氏 名

TEL

FAX

E-mail

年度において、川崎市福祉製品導入促進補助金に係る次の補助事業を実施したいので、補助金交付要綱第8条第1項の規定により、次のとおり申請します。

|  |   |
|--|---|
| 1 事 業 区 分  | <input type="checkbox"/> 導入促進事業 (第5条1号事業)<br><input type="checkbox"/> 展示会出展事業 (第5条2号事業) |
| 2 補 助 対 象 事 業 名  |   |
| 3 福 祉 製 品 等 の 設 置 ・ 展 示 場 所<br>( 複 数 の 場 合 主 た る 場 所 ) |   |
| 4 事 業 額  | 円   |
| 5 補 助 対 象 経 費 額<br>(※ 事業費から対象外経費を除いたもの)                | 円   |
| 6 補 助 申 請 額<br>(※ 補助対象経費額×補助率 補助限度額を上限)                | 千 円 ※ 千円未満切り捨て  |
| 7 事 業 実 施 予 定 時 期<br>(※ 導入時期又は展示会開催時期)                 |   |
| 8 事 業 計 画  | 別紙のとおり  |

## 2019年度第2回川崎市福祉製品等導入促進補助金（事業計画）

## 1 法人概要

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 法人名     |                    |
| 代表者名    | やくしよく しめい<br>役職・氏名 |
| 本店所在地   | 〒<br>電話/FAX        |
| 設立年月日   | 年 月 日              |
| 資本金(千円) | 千円                 |
| 事業内容    | (業種・業務内容等)         |

## 2 事業計画

|   |  |
|---|--|
| 福祉製品等の<br>名称・導入実績有無<br>(導入補助事業で複数<br>ある場合は希望順位) |  |
| 導入・展示場所   |  |
| 試用・試用に代わる説明<br>を受けた日・担当者名<br>(導入促進事業のみ)         |  |
| 導入又は展示目的  |  |
| 期待する効果<br>(導入促進事業のみ)<br>展示企画概要<br>(展示会出展事業のみ)   |  |
| 購入先(予定)<br>又は<br>工事業者名<br>(導入促進事業のみ)            |  |

※ 必要に応じて、図面・カタログ等、事業内容を説明する資料を添付してください。

※ 展示会出展事業にあつては、展示会出展を明らかにする書類(写し可)の提出をもって、別紙2の提出に代えます。



2 事業経費

(1) 導入福祉製品等の名称等

(単位：円)

| 福祉製品名 | 数 | 量 | 単価(税込み) | 金額(税込み) |
|-------|---|---|---------|---------|
|       |   |   |         |         |
|       |   |   |         |         |
|       |   |   |         |         |
|       |   |   |         |         |
|       |   |   |         |         |
| 合計    |   |   |         | A       |

(2) 補助対象経費の内訳

(単位：円)

| 区分     | ◎ 事業経費 | ◎ 補助対象外経費 | ◎ 補助対象経費 |
|--------|--------|-----------|----------|
| 福祉製品等  | A      |           |          |
| 設置工事費等 |        |           |          |
|        |        |           |          |
|        |        |           |          |
|        |        |           |          |
|        |        |           |          |
|        |        |           |          |
| その他経費  |        |           |          |
| 合計     |        |           |          |

※ ◎ 補助対象経費 = ◎ 事業経費 - ◎ 補助対象外経費 (消費税等)

# 排泄予測デバイス DFree 製品サービス紹介

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

- ・社名：トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
- ・所在地：日本 東京都千代田区有楽町一丁目5番2号  
米国 2230 Homestead Court, LOS ALTOS CA 94024  
仏国 66 Avenue des Champs-Élysées, 75008, Paris
- ・代表者：代表取締役 中西 敦士
- ・設立：2015年2月18日
- ・資本金：約11.5億円(資本準備金含む)
- ・事業内容：排泄予測デバイス「DFree」の企画・開発・販売

## <資金調達>

### ■ シード



### ■ シリーズA



### ■ 助成金等



- 2015年 2月 : 会社設立
- 3月 : ニッセイ・キャピタル「NCCベンチャーグランプリ2015」受賞  
「Pioneers Festival Japan」優勝
- 2016年 2月 : 経済産業省所管国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
「シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援助成事業」採択
- 3月 : 「Aging2.0 Global Startup Search IN Japan」最優秀賞 受賞
- 11月 : Forbes Japan「Next Rising Star Award」受賞
- 2017年 2月 : 川崎市「かわさき基準」に採択決定
- 3月 : 経済産業省「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2017」グランプリ受賞  
: 経済産業省所管国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
「企業間連携スタートアップに対する事業化支援助成金」採択
- 4月 : 介護施設向けDFreeサービス開始（日本）
- 11月 : 東京都「世界発信コンペティション」技術特別賞
- 12月 : 内閣府所管国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
「ロボット介護機器開発・導入促進事業（開発補助事業）」採択
- 2018年 1月 : 日本経済新聞社「日経優秀製品・サービス賞 日経MJ賞」最優秀賞
- 7月 : 個人向けDFreeサービス開始（日本）
- 9月～11月 : アメリカ・フランスでのサービス開始
- 2019年 1月 : CES「Innovation Awards」、Engadget「Best of CES」受賞



**Pick Up!!**

# 沿革・表彰等：CES2019での受賞について



2019年CES  (ラスベガスで開催される世界最大級の電子機器の見本市) において、以下の3つのアワードを受賞致しました。

## 1.CES

「[Innovation Awards - Fitness, Sports and Biotech](#)」



### CES 2019 Innovation Awards

The CES Innovation Awards is an annual competition honoring outstanding design and engineering in consumer technology products.

<https://www.ces.tech/Events-Programs/Innovation-Awards/Honorees.aspx>より

## 2. IHS Markit

「[Innovation Award - Fitness, Wearables and Health Devices](#)」

※ ※日本の企業としては、唯一の受賞



"Congratulations to all the technology leaders who participated in the IHS Markit Innovation Awards competition at CES"

<https://news.ihsmarket.com/press-release/technology/ihs-market-announces-innovation-awards-winners-showstoppers-ces-las-vegas-1>より

## 3.Engadget

「[Best of CES - Digital Health and Fitness](#)」

※日本のスタートアップ企業 (J-Startupの出展企業) としては、唯一の受賞



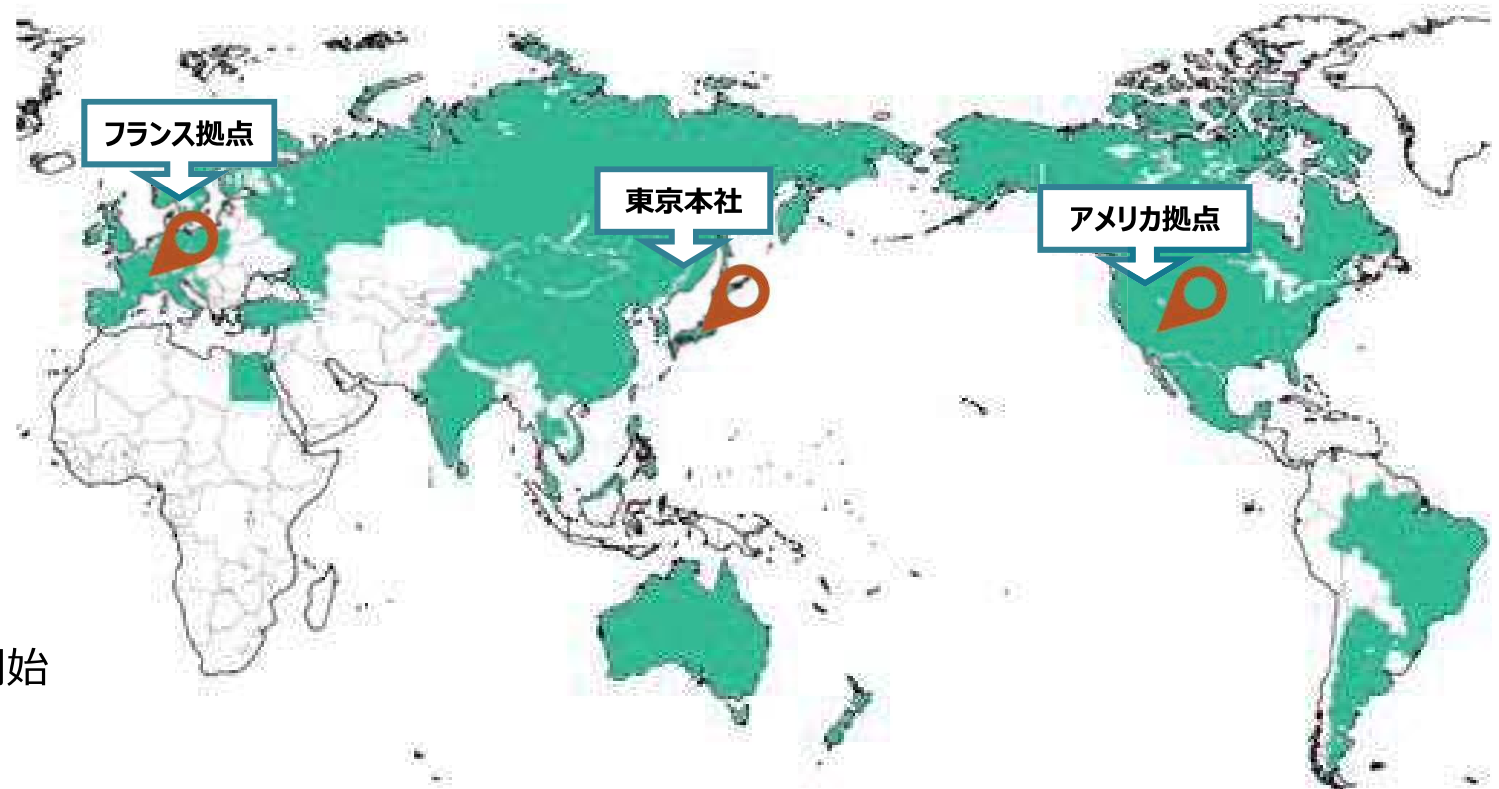
Daniel Cooper  
Senior Editor

Incontinence issues aren't just an inconvenience for people and their caregivers, there's also a stigma attached to the condition. Triple W's ultrasound incontinence monitor can measure how full the wearer's bladder is and knowing when a person is more likely to need the bathroom lets them plan their days accordingly. For aiming to improve the lives of the people with bladder problems, DFree deserves praise.

<https://www.engadget.com/2019/01/10/best-of-ces-2019-winners/>より

## 2017年日本での介護施設向けサービス開始、2018年日本国内個人向けサービス、米国・欧州でのサービスを開始

- ・ **日本**
  - 介護施設向け
  - 個人向け
- ・ **アメリカ**
  - 個人向け
  - ※2018年9月開始
- ・ **フランス**
  - 介護施設向け
  - ※2019年1月以降開始
- ・ **中国（調査中）**



その他、世界50カ国以上から問い合わせが寄せられている

## 膀胱内の尿のたまり具合をリアルタイムで計測し 排尿のタイミングをお知らせ

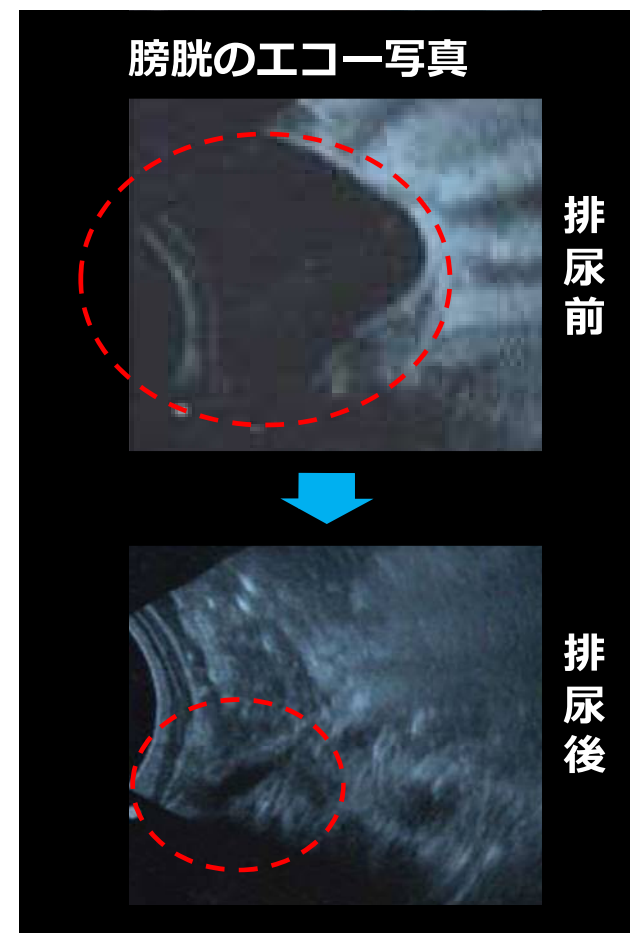
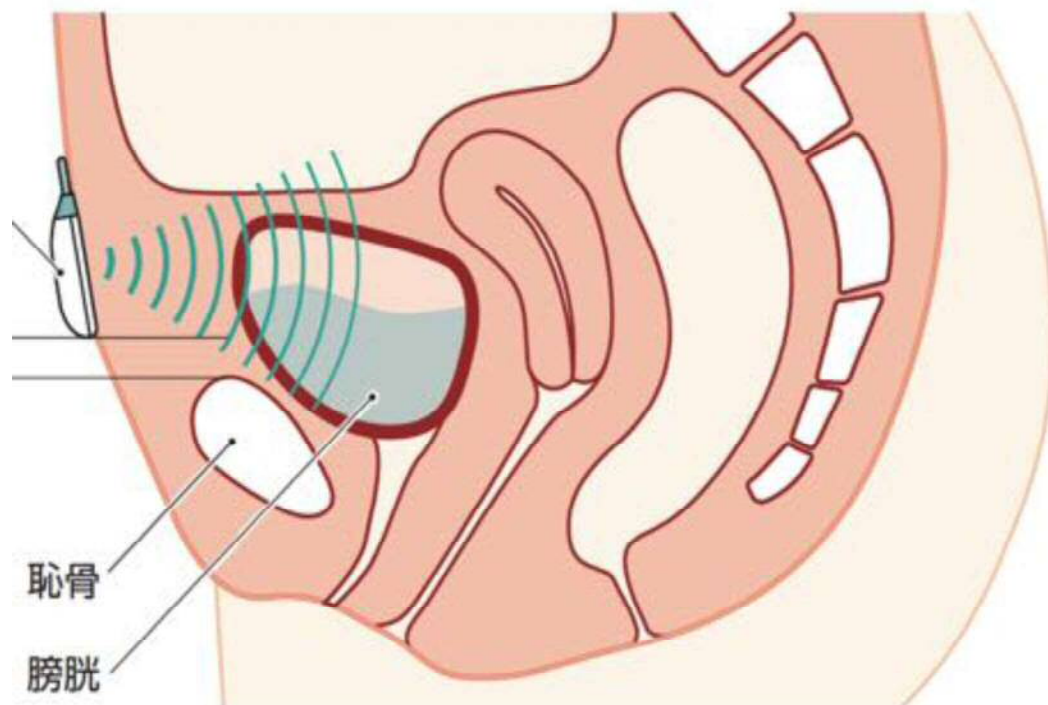
【本体部】

超音波センサー



機器は、本体部と超音波センサー部から構成されており、  
本体部とスマートデバイスがBLEにより通信（人体には全くの無害）

## DFreeは超音波によるセンシングによって膀胱の膨らみを計測





## 現在、DFreeを中心とした2つのサービスを展開

### 個人向けサービス 【DFree Personal】

DFree パーソナル  
(排尿管理ツール)



### 法人向けサービス 【DFree Professional】

排泄予測サービス  
(通知誘導・分析ツール)



## DFreeと携帯端末は1対1で直接ペアリング（相互接続）

【DFree】



【携帯端末】



BLE  
Bluetooth Low Energy



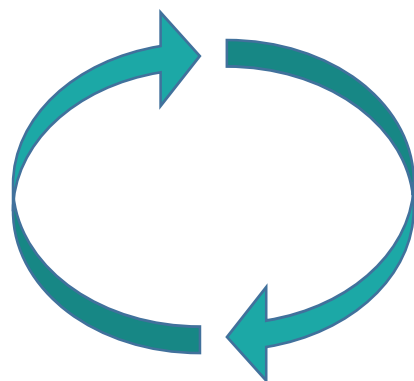
携帯端末が近くにあれば、  
いつでもどこでもデータ取得、確認が可能

## リアルタイムで尿のたまり具合を表示 →おしっこのタイミングをお知らせ

## 排尿ログの確認



「記録をつける」と  
メーターがリセットされ、



再度「0」からメーター  
が溜まります。

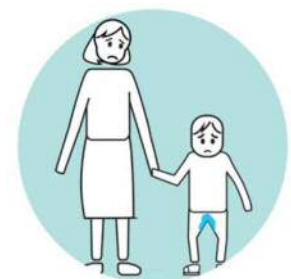


※お知らせラインはトイレの準備にかかる時間を考慮して個別に設定可能



## 1.漏らしそうになる

急に我慢できないくらいの強い尿意を感じて漏らしそうになったことがある方



## 2.漏らしてしまう

尿意を感じた時にはトイレに間に合わず漏らしてしまったことがある方



## 3.おしっこが近い

漏らすのが心配で頻繁にトイレに行くようになった方



## 4.尿意がわからない

病気や事故が原因で尿意を感じなくなってしまった方



## 5.外出が不安

いつ起こるかかわからない尿意や失禁が不安で進んで外出できなくなった方



## 6.オムツに頼りたくない

尿漏れや失禁は心配だけどまだオムツを履きたくない方

介護に限らずお子様からお年寄りまで幅広い年代の方の利用を想定しています

## 中継器・クラウドサーバーを介して 複数のDFreeを一つの端末で管理可能



### 利用環境

#### 1. Wi-fi ネットワーク      2. PC・スマートフォン・タブレット端末

- ※ DFreeの通信範囲は居室・共用部に設置する中継機から**半径10m程度**
- ※ Wi-Fi環境がない場合でも、通信オプションをご契約いただくことでご利用が可能

## 4つの機能で最適な排泄ケア実現をサポート



1. 複数名のデータを一元管理



2. 日々の排泄ケア業務を簡単に記録



3. 排尿前後などの各種通知機能



4. 尿の溜まり具合をグラフで表示

## ユーザーの使いやすさを追求したPC分析機能

ユーザー一覧

グラフ印刷・ダウンロード機能

当日データ



排尿記録



過去データ


排尿記録

# 各種サービスまとめ

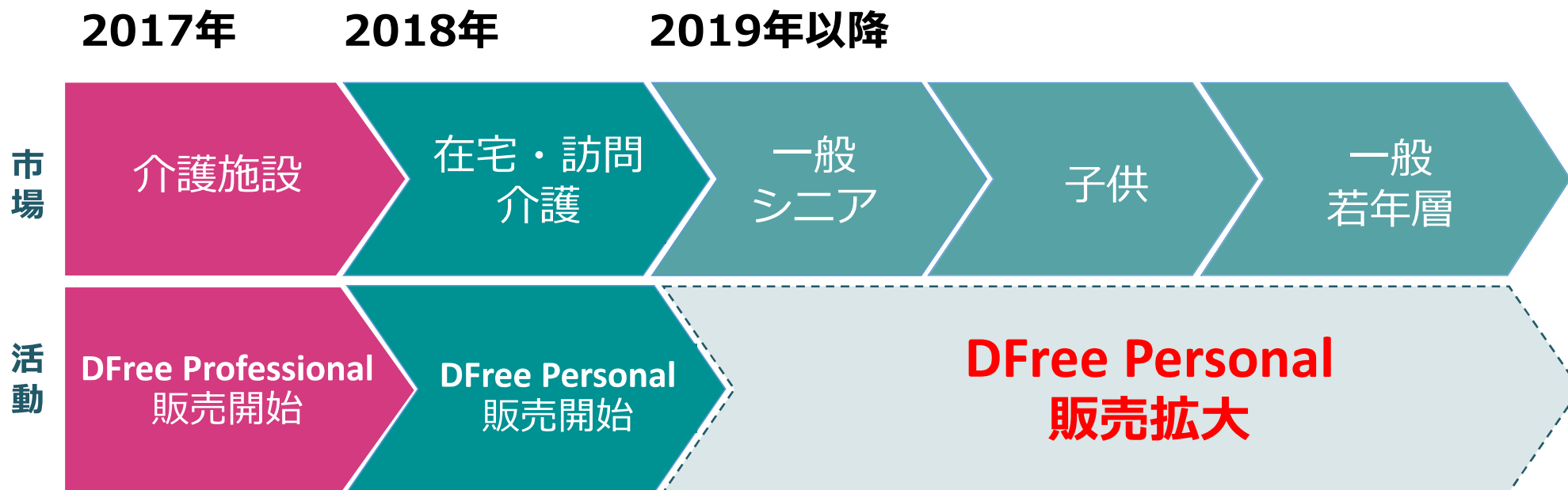
| 機能              | DFree Personal  | DFree Professional   |
|-----------------|---|--|
| ハードウェア (本体)     | U1P (センサ横付け)  | U1 (センサたて付け)   |
| 利用条件            | 通信可能な携帯端末を有すること<br>(android & iOS 対応)   | 施設WiFi環境※細かい条件有り<br>or 通信ユニット (オプション)<br>PC or iOS端末 (iPad/iPod等)                    |
| 中継器             | 不要<br>(携帯端末と直接通信)   | 必須<br>(中継器を介してTWサーバーへ接続)   |
| 利用想定ユーザー        | ご自身またはそのご家族   | 介護施設職員<br>(管理者・フロアスタッフ)  |
| UI<br>(画面)      |  |  |
| 価格 (税抜) /台      | 49,880円   | 60,000円~/半年<br>(+ 初期費用10,000円)   |
| 最低契約期間          | なし (買い切り)   | 半年   |
| 通知              | 事前・排尿通知   | 事前・排尿通知  |
| 尿量の随時確認         | 10段階で確認可能 (条件付き)  | 端末、PCで0-100で確認可能   |
| 1台に紐づく<br>ユーザー数 | 1人  | 1ユーザー<br>(追加する場合5,000円/1ID)  |



## (参考) 他社の尿測機器との比較

| 製品             |  <b>DFree</b><br>(雑貨) | 某A社<br>スポット尿測機器 | 某B社<br>残尿測定器<br>(医療機器)   | 某C社<br>残尿測定器<br>(医療機器) |
|----------------|--|-----------------|--|------------------------|
| 主な機能           | <ul style="list-style-type: none"> <li>■排泄の事前 事後通知</li> <li>■尿位グラフ取得</li> </ul>                        | ■膀胱尿量の測定        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■尿量の測定</li> <li>■尿量グラフ記録</li> </ul> | ■尿量の測定                 |
| 計測数値の<br>緻密性   | △<br>10段階 or グラフ確認可  | △<br>5段階で確認可    | △~○<br>計測方法により異なる  | ○<br>mlで確認可            |
| 計測の連続性         | ○<br>常時計測可   | ×<br>想定なし       | △<br>臥床時のみ計測可  | ×<br>想定なし              |
| 管理性            | ○<br>サーバーへ自動でデータ管理可  | ×<br>想定なし       | △<br>レシートで出力可  | ×<br>想定なし              |
| 被介護者の<br>QOL向上 | ○<br>自立排泄促進、早期対処   | △<br>残尿感の軽減     | △<br>残尿感の軽減  | △<br>残尿感の軽減            |
| コスト            | 49,880円~   | 100,000円前後      | 300,000円前後   | 240,000円前後             |

■ DFreeは、尿量の経時変化測定、管理、データを用いたフィードバックに最適です。



- ・ サービス提供開始以降、120法人500施設へ導入
- ・ 2018年夏より自社ECサイト限定一般向け製品販売開始

▶ 2019年メインマーケットの一般ユーザー市場へも注力開始

## 日本における介護業界のキープレイヤーとのネットワークを有し、 政府・地方自治体を巻き込みながら事業を推進

### ・官公庁・地方自治体



### ・介護事業者

- SOMPOケア（有料老人ホーム）
- 善光会（複合型介護施設）
- シルヴァーウィング（特別養護老人ホーム）

### ・介護機器メーカー

- アイホン（ナースコールシステム）
- ユニ・チャーム（おむつ）
- サイバーダイン（介護ロボット）

2017年の販売開始以降、マスメディア（新聞・TV・雑誌等）からの取材が急増し、日本において知名度向上

新聞

テレビ

雑誌

朝日新聞

NHKニュース  
おはよう日本

Forbes JAPAN

読売新聞

クローズアップ  
現代+

PRESIDENT

日本経済新聞

日経ビジネス

産経ニュース






















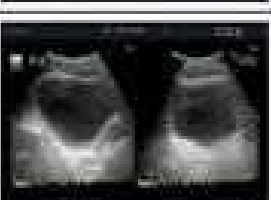
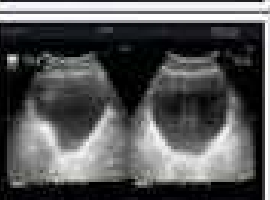

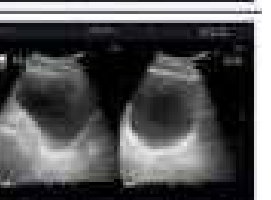
産経  
ガチマツテ!!!

報道  
STATION

日経 デジタルヘルス  
医療・健康・介護の技術革新で新産業を

AERA

# DFree数値と膀胱の膨らみの関係について

| DFree数値 | 被験者1  | 被験者2   | 被験者3  | 被験者4  | 被験者5  |
|---------|---|--|---|---|---|
| 0%      |    |    |    |    |    |
| 25%     |    |    |    |    |    |
| 50%     |    |    |    |    |    |
| 75%     |   |   |   |   |   |
| 100%    |  |  |  |  |  |

すべての人があらゆる選択肢から人生を計画し、  
納得した人生をいきいきと楽しめる世界へ

**LIVE YOUR LIFE!**

# appendix

- 介護の中で介護者が最も負担と感じているものは、排泄ケアである
- 介護施設では、排泄ケアの人員費及びおむつ費用が大きな負担となっており、収益を圧迫している

## 介護における負担

✓ **第1位：排泄 62.5%**

✓ **第2位：入浴 58.3%**

✓ **第3位：食事 49.1%**

## 介護施設における排泄ケア関連費用 (例：定員50床の介護施設)



■ 人員費 (排泄ケア) ■ おむつ費 ■ 人員費 (その他)  
■ 医療材料費 ■ 給食材料費 ■ 経費 (その他)

※内閣府政府広報室：  
2013年 介護ロボットに関する特別世論調査より

※当社ヒアリング及び福祉医療機構「介護老人保健施設の経営状況について」等を参考に、当社にて独自に試算



- 2017年に排泄予測の技術が、介護ロボットの重点開発分野に認定
- 自立排泄に向けた取組みを行う介護施設に対する介護報酬の加算（排泄支援加算）が2018年4月よりスタート

## 介護ロボットの重点分野 (2017年10月12日改訂)

## 排泄支援加算制度の新設 (2018年4月1日より適用開始)

「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂しました

～自立支援による高齢者の生活の質の維持・向上と介護者の負担軽減の実現を図るため、1分野5項目を追加～

厚生労働省と経済産業省は、自立支援による高齢者の生活の質の維持・向上と介護者の負担軽減の両方の実現を図るため、「ロボット技術の介護利用における重点分野」(平成24年11月策定、平成26年2月改訂)を改訂し、新たに1分野(介護業務支援)と5項目を追加しました。これまでの5分野6項目と合わせ、6分野13項目が今後の重点分野となります。

今回の改訂は、介護現場と開発企業の協議を通じて、介護現場のニーズを反映したロボット介護機器の提案を取りまとめている厚生労働省の「ニーズ・シーズ連携協議協議会」から提案された内容等に基づいたもので、高齢者にとっても介護者にとっても実際の介護の場面で実現したいと思われよう、介護現場のニーズを真に汲み取ったものです。また、介護業務の生産性と公平性の向上を図ることほもとより、作業負担の軽減など魅力ある職場づくりにもつながるものです。

今後、経済産業省では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施するロボット介護機器開発・導入促進事業において、開発支援を行います。本事業の公募を本年度中に開始する予定です。  
また、厚生労働省では、開発中の試作機について介護現場での実証、成果の普及啓発などを行い、実用化を促す環境を整備するほか、ロボット介護機器を活用した介護技術の開発を支援していきます。



※2017年10月12日付けの厚生労働省のWEBサイト等より一部抜粋

### 排泄にかかる機能を向上させる取組に対する評価の新設について

#### 論点3

- 施設系サービスにおいて、排泄に介護を要する入所者に対し、排泄にかかる機能を向上させる取組を行った場合の評価を設けることについてどう考えるか。

#### 対応案

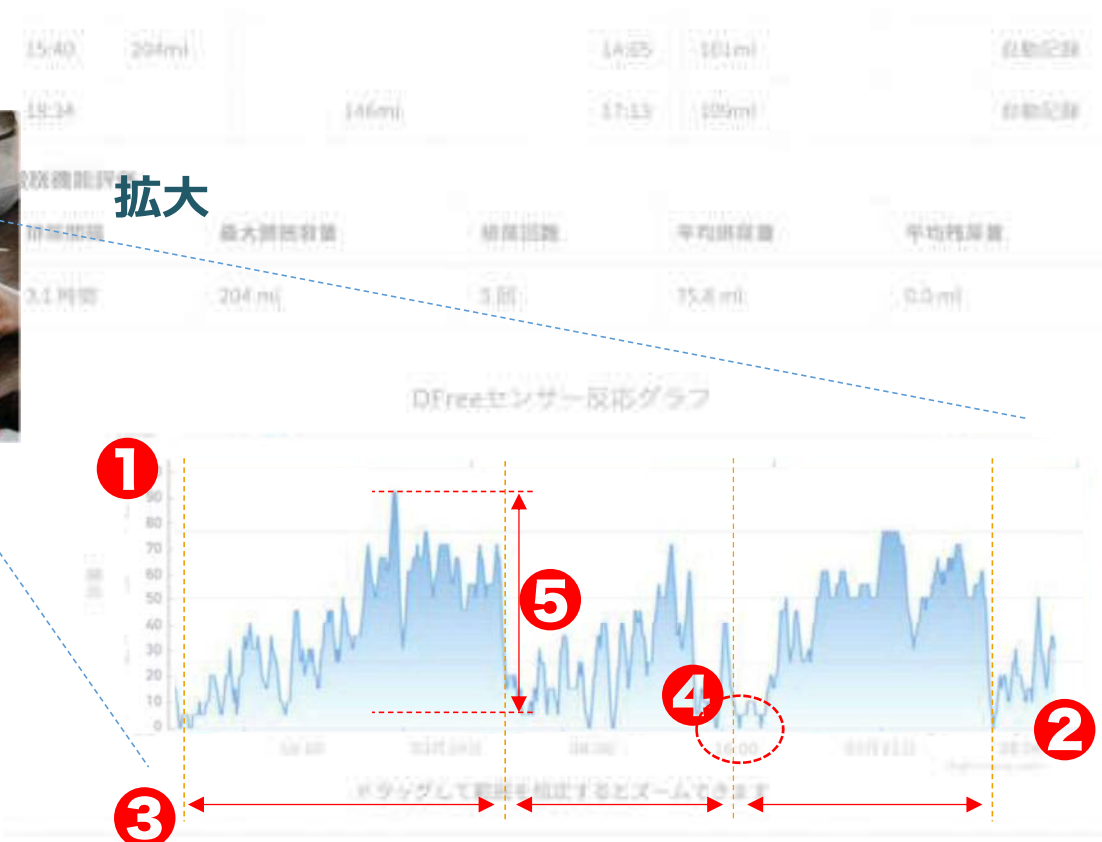
- 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院において、排泄に介護を要する利用者<sup>(※1)</sup>のうち、身体機能の向上や環境の調整等によって排泄にかかる要介護状態を軽減できる<sup>(※2)</sup>と医師、または適宜医師と連携した看護師<sup>(※3)</sup>が判断し、利用者もそれを希望する場合、多職種が排泄にかかる各種ガイドライン等を参考として、
  - ・排泄に介護を要する原因等についての分析
  - ・分析結果を踏まえた支援計画の作成、実施を実施することについて、一定期間、高い評価を行ってはどうか。

(※1) 要介護認定調査の「排便」または「排便」が「一部介助」または「全介助」である場合等。  
(※2) 要介護認定調査の「排便」または「排便」の項目が「全介助」から「一部介助」以上に、または「一部介助」から「見守り等」以上に改善することを目安とする。  
(※3) 利用者の背景疾患の状況を勘案する必要がある場合等は、適宜、医師と連携することとする。

※2017年11月29日：介護給付費分科会資料より一部抜粋



拡大



装着者の排泄に関連する複数の重要情報を取得可能

**DFreeを活用し、最適なケアの実践したことによって以下の効果が確認されています。**

※独自で実施したユーザーへのアンケートより抜粋

|       |                  |  |            |            |
|-------|------------------|--|------------|------------|
| 定量的効果 | 空振り減少            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 排尿の訴えと尿量の関連を確認することができ、空振りが減少した</li> <li>■ 同じく、尿量を確認できたことで排尿訓練を実施でき、頻繁なコールや訴えから解放された</li> </ul>  | 職員の心身負荷の軽減 | ユーザーのQOL向上 |
|       | 汚染からの二次業務軽減      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 排尿量や蓄尿傾向の把握により、早期な介入や、計画的な排泄具が可能になり、失禁や横漏れに起因している二次業務が大幅に軽減できた</li> </ul>   |            |            |
|       | 消費財削減            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上記と同様の理由により、アウターをテープタイプからパンツタイプへの変更でき、消費財のコストも削減できた</li> </ul>  |            |            |
| 定性的効果 | コミュニケーション・コストの軽減 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機能に合わせたトイレ誘導を実施することで、夜間の徘徊が減ったり、（質の良い眠りからか）優しい表情や発言をするようになった</li> <li>■ 本人の訴えと関係無くトイレに行くべきか否かとわかるため、作業としてではなく、相手のための排泄ケアをできるようになった</li> </ul> | ベッドの稼働率上昇  | 排泄活動の維持・改善 |
|       | ESの向上            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 以前より「お年寄りに向き合う」時間が増えて、自分の価値を感じて</li> <li>■ プロとしての専門性を高めることができていると実感</li> <li>■ 初めて排泄ケアを面白いと感じた</li> </ul>                                     |            |            |



**TRENDMASTER**

2019年4月18日  
トレンドマスター株式会社  
代表取締役 中田 敦

高齢者向けコミュニケーションロボット

世界販売数 NO1.

累計10万台

達成！

# 当社のミッション

## **We Create Family Happiness** 家族の幸せ創造企業

高齢者の心理面のケアに特化した、シンプルなコミュニケーションロボットを提供し、高齢者ご本人の癒しと共に、ご家族との会話を促進し、施設従事者とのコミュニケーションを円滑にする事を、当社のミッションとする。



シンプルなコミュニケーションロボット  
なでなでねこちゃんDX2シリーズ **販売中！**

(とらちゃん・アメショーちゃん・みけちゃん)

売価 5980円(税別)



猫好きの方に効果あり！





# なでなでねこちゃんシリーズは

AMEDのロボット介護機器開発・導入促進事業  
「ロボット介護機器開発に関する調査」に係る実証試験に参加。

★結果（大川弥生先生のレポートを要約）  
中型の改善率は10.7%に対し、小型は35.7%。  
介護者が活動項目を促しながら使用した場合は53.8%の改善率に。  
安価な小型ロボットがコストパフォーマンスに優れている。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development



# なでなでワンちゃんシリーズ 販売中！

(トイプードル・しば・ダックス) 売価 6980円(税別)

テクにエイド協会の、介護ロボット等モニター調査事業に参加。高齢者が、ワンちゃんと接する事で、DBDの13項目の内11項目が改善。過去に犬の飼育経験がよみがえり、楽しそうに思い出話をする様子が、確認されている。介護職員に対する会話も円滑になり、新たなツールを得られたとのコメントをいただいた。



2019年2月 秋田犬発売

# コミュニケーションロボット「なでなでワンちゃん」 川崎市(かわさき基準KIS)が福祉製品として認証

川崎市は、「なでなでワンちゃん」の総合評価結果として、「**高齢者が本製品を介して子どもも含め、他者との会話を促進させながら関係を構築する効果も評価できます**」等のコメントを発表している。



心理情動面の改善率82%！

こんにちは赤ちゃん 販売中！

(男の子・女の子) 売価 8000円(税別)

振動センサーと音センサーの組み合わせで、自然にあやすと、お返事したり笑ったり。赤ちゃんが手元に来ると、攻撃的な発言が縮小。



# こんにちは赤ちゃんの効果

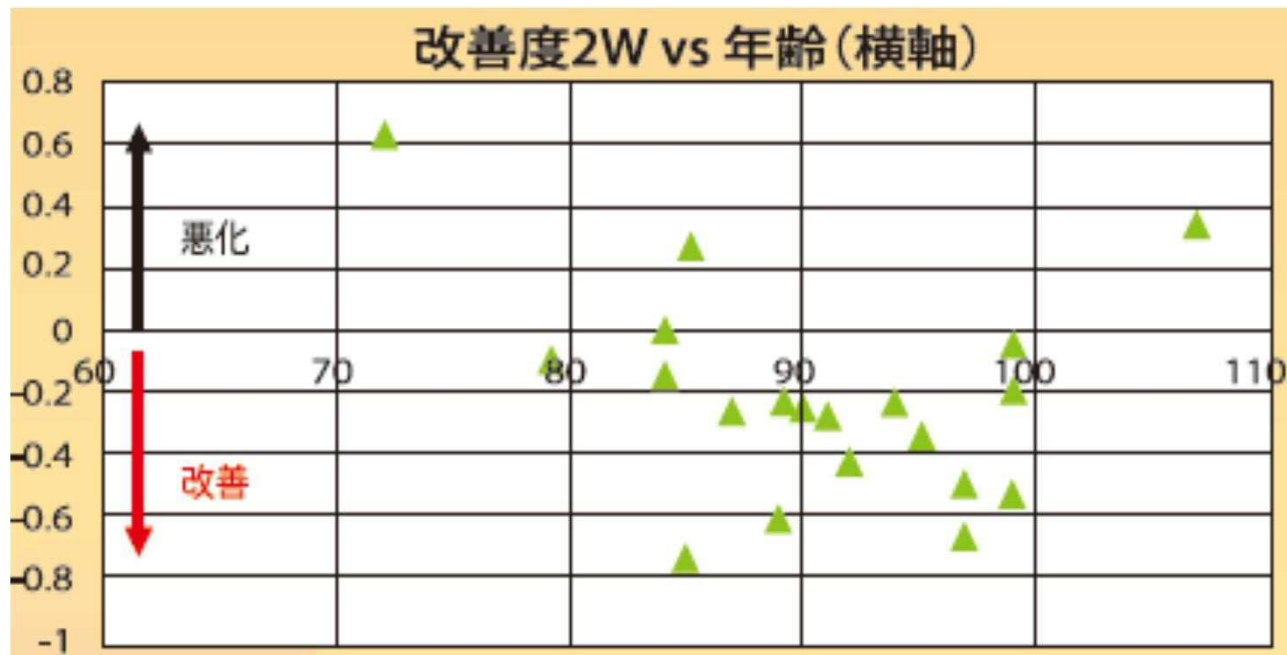
2017年 テクノエイド協会「介護ロボット等モニター調査事業」に参加。社会福祉法人東京聖新会にて実施。心理情動面の評価をInterRAIアセスメントを活用して行う。

## ★症状

- E1-a 否定的なことを言う
- E1-b 自分や他者に対する継続的な怒り
- E1-c 非現実的な恐れがあることを思わせる非言語を含む表現
- E1-d 繰り返し身体の不調を訴える

## ★結果

- 22人中18名(82%)に改善が見られた。
- 「気分と行動」「対人関係の不安定さ」の領域で改善が顕著であった。
- これらの効果は年齢や性別・認知症の程度に影響されなかった。



2016年11月21日

読売新聞  
全国版

「お年寄りを  
癒す家族」  
として、記事掲載

# お年寄り癒やす「家族」

ペットや家族のように、ぬいぐるみとの生活を楽しむお年寄りが増えている。音声機能が充実し、鳴き声や会話などで癒やされるという高齢者が多い。通信を活用した見守り機能を盛り込んだ商品もある。

(田中ひろみ)

まるで本物の猫

頭をなでると「にゃー」と喜び、尻尾をなで続けると「うわー」と怒る――。

「なでなでねこちゃんDX2」(税込み希望小売価格6458円)は、猫の鳴き声がリアルだ。触る場所や触り方によって鳴き声は48種類。川崎市の新興企業、トレンドマスターが9月に発売した。

子ども向け商品を4年前に売り出すと、アンケート調査で購入者の1割がお年寄りだった。「より本物をそっくりに」との要望が多く寄せられ、開発につながった。中田敦社長は「猫が好きでも、飼えない高齢者は多い」と話す。「認知症の人の癒やしやコミュニケーション促進の効果を確認できた」として、川崎市が独自認証する優良福祉用品に選ばれた。犬のぬいぐるみも12月に発売予定だ。音声機能が充実したぬいぐる

◆シニア向け高機能ぬいぐるみの例

| 商品名              | なでなでねこちゃんDX2                      | おしゃべりみーちゃん                   | なんでしてるの!? しゃべくりハッピー&ラッキー         | ここくま                              |
|------------------|-----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 開発企業             | トレンドマスター                          | パートナーズ                       | タカラトミー                           | NTTコム、イワヤなど                       |
| 幅もしくは横×高さ×奥行き(寸) | 43×14×11                          | 25×30×20                     | 28×30×27(クマ)                     | 21×28×20                          |
| 特徴               | なで方で鳴き声が変わる。自分の猫そっくりに作ってもらえるサービスも | 簡単な会話ができる。季節や時間帯に合ったひとりごとを言う | 利用者の名前や好みなどの情報を登録すると、設定に合わせて会話する | 離れて暮らす家族との音声メッセージのやりとりが、見守り機能の役割に |
| 電源               | 乾電池                               |                              |                                  | 充電式                               |
| 税込み希望小売価格        | 6458円                             | 1万3500円                      | 各9720円                           | 3万7584円、月額サービス料2139円              |
| 購入方法             | インターネット通信販売など                     | 電話、ネット通販など                   | 玩具店、ネット通販など                      | 百貨店など                             |

## 会話機能付きぬいぐるみ 脳活性化にも

みは、音や触感に反応するセンサーなどを内蔵し、話したり鳴き声を出したりするタイプが中心だ。

一人暮らしの高齢者は会話の機会が少なくなりがちだ。横浜技術科学大の大田義雄名誉教授(社会高齢学)は、「ぬいぐるみに話しかけられると脳の活性化や集中力アップにつながり、癒やし効果がある。一緒の外出は、同世代や孫世代との会話のきっかけにもなる」と話す。

熱中症予防声かけ

玩具メーカー「パートナーズ」の人形「おしゃべりみーちゃん」(同1万3500円)は、背中を軽たたたくと4歳の女の子の声で話し始める。簡単な会話も可能で、日時も認識している。

「変な電話に気をつけてね」「暑いな。お水をたくさん飲みましょ」と話すので、振り込み詐欺対策や熱中症予防への意識も高まりそうだ。

タカラトミーが4月発売したクマと犬のぬいぐるみ「なんで

東京堂  
i.com

夕白  
白～

の新  
自利な。部  
利た。一時

調製  
12月  
1000



# 市場でのポジショニング



**高齢者向けの、シンプルで安価で効果のある  
コミュニケーションロボットの総合メーカーを目指す！**



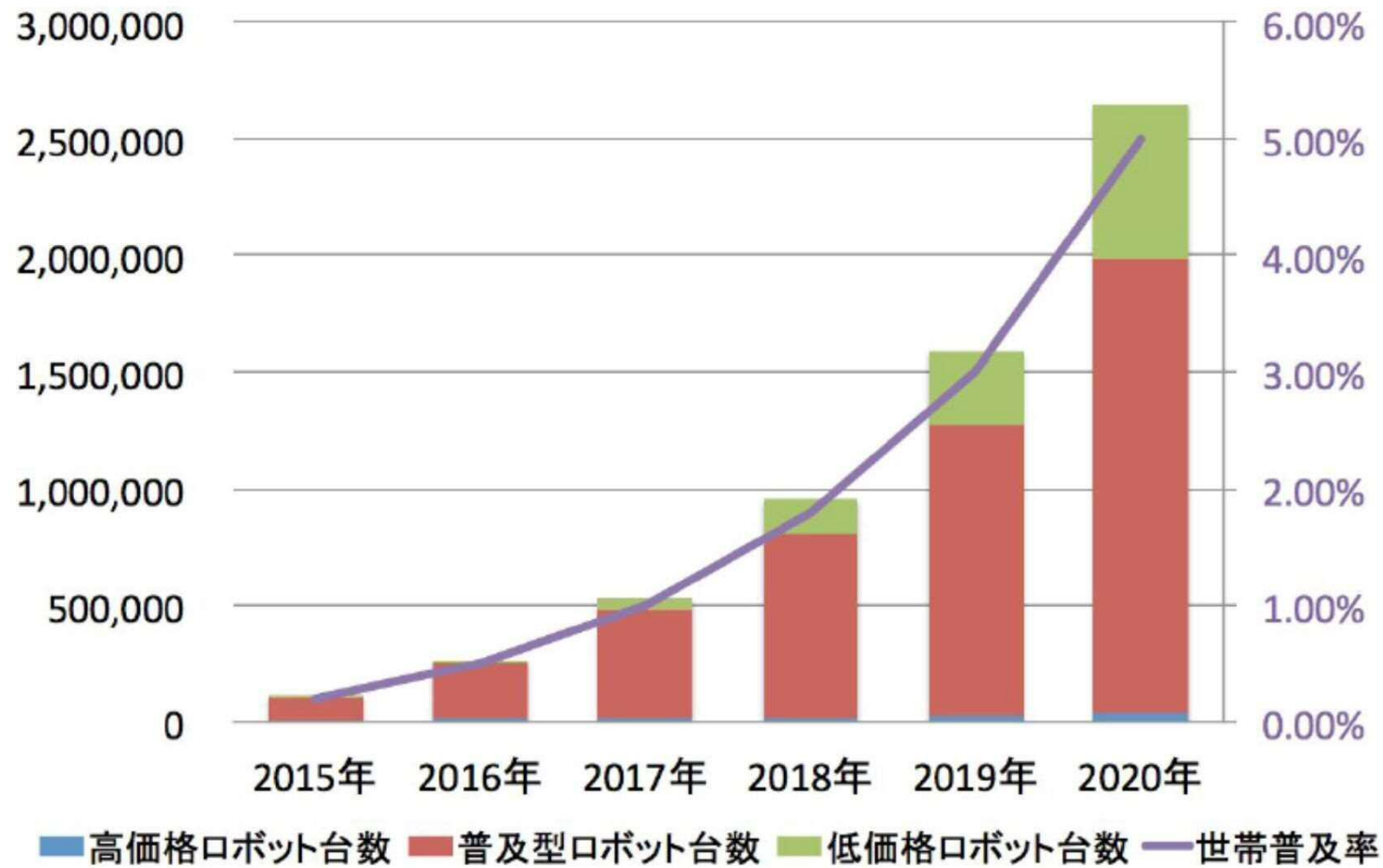
低価格



# コミュニケーションロボット市場は 2020年には2400億円市場に拡大

ロボットスタート株式会社  
2015年9月9日 ニュースリリース

コミュニケーションロボット出荷台数・世帯普及率

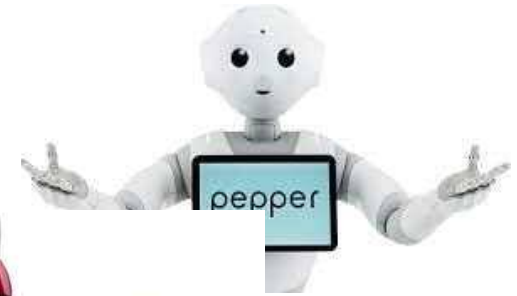


# 当社のコミュニケーションロボットシリーズお取り扱い法人

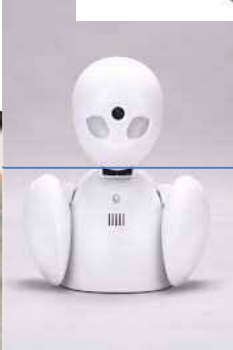
2018年11月22日現在

株式会社 フォーライフメディカル  
アビリティーズ・ケアネット 株式会社  
株式会社 豊通オールライフ  
宇都宮製作所 株式会社  
株式会社 ウィズ  
株式会社 ウェルファン  
株式会社 ケアマックス  
株式会社 プラス・ジョインテックスカンパニー  
株式会社 大塚商会  
株式会社 トーカイ  
株式会社 ヤマシタコーポレーション  
株式会社 ケアネット(富士通)  
フランスベッド 株式会社  
他各社

# 次世代機器開発



シンプルな機能



高機能

次世代型の開発  
スタート！

コミュニケーションロボット総合メーカーを目指す！



低価格

# 世界的な課題に対する「解」の追求



The Tombot is a robotic companion animal. Tombot



## REQUEST #RFP\_2019\_0072

### 動物型セラピーロボットの開発および臨床評価パートナー ～認知症の症状改善および介護者負担の軽減に向けた取り組み～

提案提出期限: 2019年5月10日

コンタクト先:

#### 提案者にとっての機会

##### ロボット開発パートナーへの提供機会

共同もしくは受託開発に加えて、開発品に関する知財の譲渡、製品化までのサポート、依頼主のネットワークを通じた製品の販売といった機会も提供可能

##### 臨床評価のエキスパートへの提供機会

共同研究（成果について学術論文等の発表も可能）、コンサルティング契約



#### 期間

プロトタイプ之作製 2年以内

#### 予算

提案内容に応じて応相談

#### 提案募集概要

ナインシグマ社は、グローバルなヘルスケアメーカーを代理して、認知症患者の自立性やQOL向上、ならびに介助者や家族の負担軽減を目的に動物型ロボット（特にネコ型を想定）による動物介助療法（アニマルセラピー）の実現に向けたパートナーを求めている。

- 動物型ロボットのコンセプト
  - ネコ型を想定しており、家族の一員として安らぎや愛着を与えるデザイン（表面の毛や柔らかい質感など）
  - 言語や非言語（視線、鳴き声、動きなど）により、相互コミュニケーションが可能



外観はこのようなグレードを予定しています。





コミュニケーションロボットの市場創造を、とことんやります。  
我社のミッションは「家族の幸せ創造」だから。